



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社網屋 上場取引所 東  
 コード番号 4258 URL https://www.amiya.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 晃太  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 森 行博 (TEL) 03 (6822) 9999  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年12月期第3四半期	2,645	—	315	—	372	—	262	—
2022年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 261百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	65.10	62.24
2022年12月期第3四半期	—	—

(注) 2023年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期第3四半期の数値及び四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2023年12月期第3四半期	3,670	1,712	46.7
2022年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,712百万円 2022年12月期 一百万円

(注) 2023年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,516	—	360	—	427	—	297	—	74.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2023年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。詳細については、本日付開示「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」ご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社 (社名) 株式会社グローブテック・ジャパン 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期3Q	4,270,400株	2022年12月期	4,151,200株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	164,200株	2022年12月期	187,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期3Q	4,035,113株	2022年12月期3Q	4,044,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）	7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	7
（会計方針の変更）	7
（セグメント情報等）	8
（企業結合等関係）	9
（重要な後発事象）	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度の比較分析は行っていません。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的高インフレの継続、ロシア・ウクライナ情勢やイスラエス・パレスチナ情勢といった不安要素はみられるものの、新型コロナ収束後のインバウンド増加による外需拡大、堅調な個人消費や設備投資などが経済を牽引し、引き続き景気回復の傾向が見られました。

また、サイバー攻撃被害は引き続き増加の一途をたどるなかで、政府端末への国産サイバー対策ソフト導入に向けた動きなど、サイバーセキュリティ対策サービスに対するニーズは堅調であり、当社事業に対する需要や社会的な期待が益々高まっていることが感じられております。

このような環境下において、当社では当事業年度より開始した新「中期3か年経営計画」の計画達成に向け、より一層の飛躍を目指し、積極的な事業活動を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,645,485千円、営業利益は315,056千円、経常利益は372,305千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は262,689千円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### データセキュリティ事業

当第3四半期連結累計期間におけるデータセキュリティ事業は、サイバー攻撃を検知するためのログ管理製品の引き合いが増加し、売上高は堅調に推移いたしました。

新サービスの「中堅・中小企業向けサイバー攻撃監視代行サービス」及び「サイバーセキュリティエンジニア教育サービス」は共に好調な受注傾向が継続しており、技術員拡充に伴うコスト増加となりましたが、セグメント利益は計画を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は956,693千円、セグメント利益は437,027千円となりました。

#### ネットワークセキュリティ事業

当第3四半期連結累計期間におけるネットワークセキュリティ事業は、エンジニアを現地に派遣せず、クラウドセンターから一括管理できる「SaaS型ネットワーククラウドサービス」が人材不足を払拭するための手段として、引き続き需要が高く、順調な販売結果となりました。さらに、前事業年度に講じた価格改定の効果により、売上総利益率が大きく向上したことから、セグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,688,791千円、セグメント利益は418,817千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,670,213千円となりました。主な内容は、現金及び預金1,722,563千円、原材料及び貯蔵品575,401千円、工具、器具及び備品113,170千円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,957,812千円となりました。主な内容は、契約負債1,020,427千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）315,624千円、短期借入金100,000千円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は1,712,401千円となりました。主な内容は、利益剰余金1,116,813千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日に連結決算決算開始に伴い、2023年12月期の連結業績予想を発表いたしました。詳細につきましては、本日開示いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,722,563
売掛金	411,072
仕掛品	63,120
原材料及び貯蔵品	575,401
その他	205,209
流動資産合計	2,977,366
固定資産	
有形固定資産	148,882
無形固定資産	
のれん	56,473
ソフトウェア	69,486
その他	69,071
無形固定資産合計	195,031
投資その他の資産	
投資有価証券	150,407
その他	198,525
投資その他の資産合計	348,933
固定資産合計	692,847
資産合計	3,670,213
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	85,088
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	90,747
未払金	88,420
未払法人税等	78,343
契約負債	1,020,424
その他	221,048
流動負債合計	1,684,073
固定負債	
長期借入金	224,877
退職給付引当金	48,862
固定負債合計	273,739
負債合計	1,957,812
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	60,492
資本剰余金	748,623
利益剰余金	1,116,813
自己株式	△211,926
株主資本合計	1,714,002
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,600
その他の包括利益累計額合計	△1,600
純資産合計	1,712,401
負債純資産合計	3,670,213

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,645,485
売上原価	1,346,726
売上総利益	1,298,759
販売費及び一般管理費	983,703
営業利益	315,056
営業外収益	
受取利息	61
保険解約返戻金	57,264
助成金収入	561
受取手数料	313
為替差益	128
還付加算金	61
その他	108
営業外収益合計	58,498
営業外費用	
支払利息	434
解約手数料	781
その他	31
営業外費用合計	1,248
経常利益	372,305
特別損失	
固定資産除却損	276
特別損失合計	276
税金等調整前四半期純利益	372,029
法人税、住民税及び事業税	119,686
法人税等調整額	△10,346
法人税等合計	109,340
四半期純利益	262,689
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,689

四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	262,689
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,600
その他の包括利益合計	△1,600
四半期包括利益	261,088
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	261,088
非支配株主に係る四半期包括利益	—



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結範囲の重要な変更）

当第3四半期連結会計期間において、株式会社グローブテック・ジャパンの全株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高				—	
一時点で移転される財又は サービス	384,916	768,580	1,153,496	—	1,153,496
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	571,777	920,211	1,491,988	—	1,491,988
顧客との契約から生じる収益	956,693	1,688,791	2,645,485	—	2,645,485
外部顧客への売上高	956,693	1,688,791	2,645,485	—	2,645,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	956,693	1,688,791	2,645,485	—	2,645,485
セグメント利益	437,027	418,817	855,844	△540,788	315,056

(注) 1. セグメント利益の調整額△540,788千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な金額の変動)

「データセキュリティ事業」において、株式会社グローブテック・ジャパンの株式を取得し連結子会社としたことにより、新たにのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、56,473千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## （企業結合等関係）

## 取得による企業結合

当社は、2023年8月23日開催の取締役会において、株式会社グローブテック・ジャパンの全株式を取得し連結子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約書を締結、2023年8月23日に株式を取得いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社グローブテック・ジャパン

事業の内容 IT技術者派遣、受託開発、製品販売

## ② 企業結合を行った主な理由

株式会社グローブテック・ジャパンはエンジニアの派遣事業を主業とした事業を展開しており、当社が得意とする「サイバーセキュリティ人材育成」をグローブテック・ジャパンの人材に施し、付加価値の高いサイバーセキュリティエンジニアの派遣事業を展開することが可能となり、今後の持続的な成長と企業価値の向上に有効であると判断し、同社株式を取得することといたしました。

## ③ 企業結合日

2023年8月23日 株式の取得（みなし取得日：2023年9月30日）

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

## ⑥ 取得した議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式を取得したためであります。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を2023年9月30日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3か月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれていません。

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	91,950千円
取得原価		91,950千円

## (4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 4,950千円

## (5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ① 発生したのれん金額

56,473千円

## ② 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力により発生したものです。

## ③ 償却方法及び償却期間

効果の及ぶ期間にわたって、定額法により定期的に償却します。償却期間については、算定中です。

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。